

第 41 号	Super Highway	
発行日 2025.10. 1		J R 東労組ホームページ

10 月も 3,000 品目以上、物価上昇続く

2025 年 10 月、私たちの生活を直撃する値上げの波が止まりません。食品、日用品、交通費、光熱費など、日々の暮らしに欠かせない商品やサービスが次々と値上げされ、家計への負担は増す一方です。

たとえば、キッコーマンは家庭用しょうゆの一部を最大約 9%値上げし、味の素は冷凍食品やレトルト商品など約 100 品目を平均約 6%引き上げました。日清食品はカップヌードルなど即席麺の主力商品を約 5%値上げし、森永乳業は牛乳やヨーグルトなど約 150 品目を平均約 4%値上げしています。さらに、駅やコンビニで販売されるペットボトル飲料は、ついに 1 本 200 円という価格が当たり前になりつつあります。通勤途中に買うコーヒーやお茶が、気づけば贅沢品になっているのです。

このような物価上昇に対して、私たちの賃金は追いついていません。最低賃金は全国平均で 1,121 円に引き上げられましたが、物価の上昇率がそれを上回っているため、実質賃金は下がり続けています。働いても生活が苦しい——この現実を変えるには、名目賃金の引き上げだけでなく、実質的な生活向上につながる「賃上げ」が不可欠です。

現場で働く私たちにしっかりと還元することが、持続可能な経済と社会の基盤となります。

経済の正常化を進めるには、長期的に賃金の上昇が物価の上昇を上回ることが不可欠！！



J R バス 関東で働く仲間を一つに！